

北海信用金庫のあゆみ

沿革

大正15年	3月	有限責任余市信用組合の設立認可
昭和12年	3月	沢町支店設置
昭和20年	1月	仁木支店設置
昭和23年	10月	俱知安支店設置
昭和24年	7月	「後志信用組合」に名称変更
	12月	喜茂別支店設置
昭和25年	5月	寿都支店設置
	6月	黒松内支店設置
	10月	狩太支店設置
昭和26年	10月	信用金庫法に基づき「後志信用金庫」に改組
昭和27年	8月	蘭越支店設置
	12月	本店新築落成
昭和28年	3月	真狩支店設置
昭和29年	5月	内国為替業務取扱開始
昭和30年	2月	留寿都支店設置
	5月	京極出張所設置
昭和32年	4月	後志信用金庫育英会発足
昭和34年	1月	全国信用金庫連合会代理業務取扱開始
昭和39年	2月	営業地区を小樽市に拡張
	8月	「北海信用金庫」に名称変更
昭和40年	12月	小樽支店設置
昭和41年	2月	営業地区を札幌市に拡張
昭和42年	10月	札幌支店設置
昭和43年	2月	営業地区を古平町・積丹町に拡張
昭和44年	11月	OUK9200型電子計算機導入
		朝里支店設置
昭和45年	4月	小樽支店、外国通貨両替商(買入)業務開始
	6月	営業地区を豊浦町・大滝村・洞爺村に拡張
昭和46年	1月	営業地区を岩内町・泊村・神恵内村・広島町 恵庭町・千歳市に拡張
	12月	日本銀行小樽支店と当座取引開始(小樽支店)
昭和47年	11月	日本銀行蔵入代理店の指定を受ける(本店)
昭和48年	6月	小樽支店、外国通貨両替商(売却)業務開始
昭和49年	10月	月寒支店設置
昭和50年	6月	北海信金オンライン稼働
昭和51年	3月	財団法人北海信金奨学財団設立
	9月	西野支店設置
昭和54年	11月	新本店ビル完成
昭和55年	7月	塩谷代理店設置
	10月	札幌北支店設置
昭和56年	12月	預金量1,000億円突破
昭和57年	10月	金売買業務を開始
昭和58年	6月	国債窓口販売業務開始
	7月	「北海信金地域経済振興基金」財団法人となる 蘭島代理店設置
	12月	日本銀行から国債代理店に指定される
昭和59年	11月	全国信用金庫連合会と外国為替業務の取次契約を締結
昭和60年	1月	渉外活動に携帯用端末導入
	5月	コンピュータ(UNIVAC1100-70B)始動
昭和61年	10月	共和支店設置
平成元年	6月	福井出張所設置
平成2年	10月	手稲前田支店設置
平成3年	9月	長万部信用金庫と合併
	12月	預金量2,000億円突破
平成4年	8月	新コンピュータ(UNISYS2200-401)始動
	10月	日本銀行札幌支店と当座取引開始(札幌支店)
平成6年	6月	国縫支店を廃止して長万部支店に統合
平成7年	12月	札幌北支店新装オープン



有限責任 余市信用組合



後志信用金庫 本店



名称変更後(北海信用金庫)の本店営業部



北海信用金庫 創立四十周年記念式典



長万部信用金庫 本店(昭和59年当時)

平成 8年	9月	喜茂別支店新装オープン 朝里支店新装オープン
平成 9年	3月	岩内信用金庫との合併調印
	7月	桜町出張所を朝里支店に統合
平成10年	10月	琴似支店設置 岩内信用金庫と合併
	10月	空知信用金庫とコンピュータシステムを統一し、 日本ユニシスに外部委託することに合意
	3月	蘭島代理店を廃止し、機械化店舗とする
平成11年	10月	福井出張所を廃止し、福井代理店とする 空知信用金庫とのコンピュータシステム統合スタート
	11月	空知信用金庫とATM提携サービス開始 月寒支店新装オープン
	5月	余市町黒川町のATMを廃止し、 コープさっぽろ余市店に店外ATMを設置
平成12年	9月	信金中央金庫ビルに店外ATMを設置
	10月	手稲あけぼの支店を廃止し、手稲あけぼの代理店を設置 島牧支店を廃止し、島牧出張所を設置
		共和支店を廃止し、共和出張所を設置 岩内東支店を廃止し、岩内東出張所を設置
平成13年	1月	道央信用金庫、夕張信用金庫と合併基本協定書を締結
	10月	道央信用金庫、夕張信用金庫と合併 真狩支店新装オープン
平成14年	11月	黒松内支店新装オープン
	7月	共同設置ATM伏見、長橋店オープン
	8月	小樽支店移転オープン
平成15年	9月	奥沢支店設置 平和支店を廃止し、平和代理店を設置 若菜支店を廃止し、若菜代理店を設置
	10月	京極支店新店舗オープン
	7月	塩谷代理店新店舗オープン
	9月	北13条出張所・沼の沢代理店オープン
	10月	新コンピュータシステム稼働開始 南3条支店「店舗内店舗」移転オープン
平成16年	3月	平和代理店・若菜代理店を廃止
	5月	古平信用金庫との合併調印
	8月	南3条支店を廃止し、札幌支店に統合 北13条出張所を廃止し、白楊支店に統合
平成17年	2月	古平信用金庫と合併
	9月	夕張支店新装オープン
平成18年	10月	西野支店新装オープン
	3月	本店にて新型ATM「Bank IT」稼働開始
	10月	北海信用金庫80年史刊行
平成20年	3月	12月預金残高4,000億円達成運動(実績4,221億円)
平成21年	8月	福井代理店を廃止 夕張支店を本町出張所に変更 清水沢支店を夕張中央支店に変更
平成26年	9月	岩内東出張所を廃止し、岩内支店に統合 奥沢支店を廃止し、小樽支店に統合 塩谷代理店・沼の沢代理店を廃止
	10月	本町出張所を廃止し、夕張中央支店に統合
	11月	平成30年1月を目処に札幌信用金庫、小樽信用金庫と 対等合併することに基本合意
平成29年	3月	浜町代理店を廃止し、古平支店に統合



岩内信用金庫 本店(昭和60年当時)



道央信用金庫 本店(昭和50年当時)



夕張信用金庫 本店(昭和53年当時)



古平信用金庫 本店(昭和60年当時)



北海信用金庫80年史